

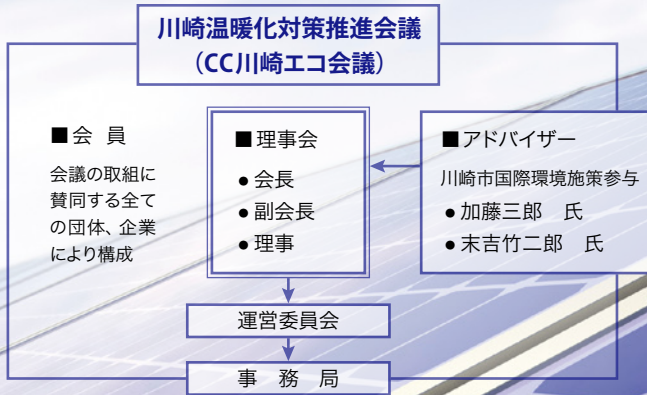
「環境」と「経済」の調和とグッドサイクルによる
低炭素社会の実現を目指して

CC かわさき 川崎温暖化対策推進会議

CARBON CHALLENGE KAWASAKI

ALL KAWASAKIで 川崎を低炭素社会に変えよう!

川崎温暖化対策推進会議の運営体制



川崎温暖化対策推進会議 設立宣言

地球温暖化は、私たちの日々の生活や経済活動の結果、引き起こされている環境問題であり、人類の生存基盤をも脅かす深刻な問題です。このような危機に対し、私たちには今すぐに具体的な活動を行うことが求められており、市民はCO₂排出の少ない生活を目指したライフスタイルへの転換、事業者はより一層の環境に配慮した生産活動とサービスの展開が求められています。こうした中で、本年は京都議定書の約束期間がスタートし、北海道洞爺湖サミットでは、温暖化対策が議論されます。このような記念すべき年に、川崎市は「環境」と「経済」の調和と好循環による地球規模の持続可能な社会の構築にむけて「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略 (CCかわさき)」に取組むとの力強いメッセージを発表しました。

私たちが住み、働くまち川崎は、音楽や文化芸術資源に恵まれた暮らしやすいまちです。また、ものづくりを中心とした企業が集積し、日本の経済を支えているまちでもあります。このような特徴のあるまち川崎が、未来を担う子どもたちに安心して住めるまちを残せるように、川崎の市民・事業者が連携して地球温暖化に立ち向うため「川崎温暖化対策推進会議 (CC川崎エコ会議)」を設立します。

平成20年7月4日 川崎温暖化対策推進会議 参加者一同

川崎温暖化対策推進会議(略称:CC川崎エコ会議)とは?

- 市民や事業者など川崎市の多様な主体が一丸となって取組む温暖化戦略(略称:CCかわさき)を推進するために2008年7月に結成されました。
- 理事には、川崎市内の団体・企業のリーダーが参加しています。

CC川崎エコ会議に参加することで...

- 市民・事業者・大学等のネットワークへの参加
- CC川崎エコ会議が主催する交流会への参加
- ホームページに会員の活動情報を掲載
- メール・マガジンを送付

会員条件

- CC川崎エコ会議の趣旨に賛同する全ての団体、企業
- 会費無料

CCかわさきへの参加方法

CC川崎エコ会議のホームページから入会申込書入手してFAXをお送り頂くか、オンラインからご参加下さい。

<http://www.cckawasaki.jp>

お問い合わせ先: info@cckawasaki.jp



会員募集のご案内

川崎市の一員として
地球温暖化防止にむけて
是非一緒に
行動しましょう!

参加方法とCC川崎エコ会議の活動内容についてはこちら

<http://www.cckawasaki.jp>

「環境」と「経済」の調和とグッドサイクルによる 低炭素社会の実現を目指します。

「CCかわさき(正式名称:カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略)」とは、市民や事業者など川崎市の多様な主体が一丸となって取り組む温暖化戦略です。この戦略の基本的な考え方は、環境と経済の調和と好循環を推進し、持続可能な社会を地球規模で実現するため、全市をあげて取り組むことです。

具体的な目標

1
川崎の特徴・強みを活かした
環境対策を進めます。

- 環境と経済の好循環「CO₂削減川崎モデル」を構築し、「低CO₂川崎ブランド」化構想を推進することにより、市内の先端技術によりCO₂排出削減を目指します。
- 製品やサービスのライフサイクルでの対策を評価する川崎独自の仕組を構築します。これらの取組みを通じて川崎発の「国際環境特別区構想」を推進します。

2
環境技術による
国際貢献を進めます。

- UNEP(国連環境計画)との連携や「国際環境技術展」等を通じて環境技術を国内外へ発信します。
- 優れた環境技術を持つ世界的企業が集積する本市は、こうした企業の活動と連携し、世界全体の地球温暖化対策に貢献します。

3
多様な主体の協働により
CO₂削減に取り組みます。

- 「CC川崎エコ会議」を設置し、市民・事業者・行政が一体となってCO₂削減に取り組みます。
- 市民・事業者・行政が一体となり、実効性のあるCO₂削減施策を構築します。
- 川崎市民の高い環境意識と環境問題を克服してきた教訓を最大限活かす取組みを促進します。



NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター
足立 芳寛

現在の社会は、石油や石炭といった化石燃料を利用することで、豊かで快適な生活を実現してきました。しかし、化石燃料に基づく従来型の社会経済構造は、一方

で二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの大量排出をもたらし、地球温暖化という危機的状況を引き起こしています。こうした状況下、世界規模で低炭素社会に向けた社会構造・ライフスタイルの大転換が求められています。

川崎市は、臨海部にエココンビナートに代表される高度な環境・省エネルギー技術の蓄積があり、また、低炭素社会の実現に不可欠な未利用エネルギーの活用や資源循環型産業システムの構築が企業間連携のもとで進められています。

川崎市が誇るこれらの都市産業モデルを地球温暖化対策に取り組む全ての主体が共有することで、世界的な温暖化問題に大きく貢献することができるものと考えます。

こうした川崎市の温暖化対策に御賛同いただき、「川崎温暖化対策推進会議」の設立にあたり、多くの団体・企業の皆様に御参加いただきましたことに深く感謝いたします。

「川崎温暖化対策推進会議」を通じて、川崎市のみならず、地球規模の温暖化防止に向けて取り組んでまいります。

CC川崎エコ会議理事・アドバイザー

【会 長】 足立芳寛 (NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター)

【副会長】 熊谷努 (川崎工業振興倶楽部)、原徹 (かわさき地球温暖化対策推進協議界)、八木晋郎 (川崎信用金庫)、山田長満 (川崎商工会議所)

【理 事】 独立行政法人環境再生保全機構、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、川崎市工業団体連合会、JFE スチール(株) 東日本製鉄所、日本電気(株) 玉川事業所、東芝(株) 浜川崎工場、富士通(株) 川崎工場、味の素(株) 川崎事業所、東京電力(株) 川崎火力発電所、東京ガス(株) 川崎支店、東燃ゼネラル石油(株) 川崎工場、(社)川崎市商店街連合会、川崎市新エネルギー振興協会、(社)神奈川県トラック協会、川崎市公園緑地協会、川崎市全町内会連合会、川崎市地域女性連絡協議会、麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会、「エコシティーたかつ」推進会議、川崎市民共同発電所プロジェクト、グリーンコンシューマー普及会議、聖マリアンナ医科大学、明治大学、慶応義塾大学、日本女子大学、(株)川崎フロンターレ、川崎市総合企画局、川崎市経済労働局、川崎市環境局

【アドバイザー】 加藤三郎、末吉竹二郎